

関東

関東におけるビルダーの販売状況は、総じて供給量を伸ばしている。関東市場は、注文住宅を中心とする大手住宅メーカーも主力市場と位置付ける半面、郊外は分譲中心のメーカーを中心にしたぎを削っている。

激戦区関東でしのぎ合うビルダー

今後の注目は分譲の展開

より競争が激化すると、関東は他の地域に比しても、完売する地区とともに、今後は、消費、郊外型と都心、人もある。増税の影響もあり各分譲地位ごとに、地価に差があり、各住宅メーカーもこれまでにおける住宅の商品開発の成果もあるが、戦略を持つことで、地域に合った分譲開発を行っている側面もあるから、たない土地で10棟分譲

だ。しかし、関東では各地域で依然人口が増加傾向にあることや、全国における住宅の着工数が約30%を誇り、住宅販売も底堅い。今回の木造住宅ランキンク関東版では、各企業

関東ビルダー木造戸建てランキンク
単位：戸

順位	企業名	13年度	14年度
1	ボラスグループ	2,987	3,408
2	アイダ設計	2,420	2,827
3	アサカワホーム	2,222	2,300
4	松家ホールディングス	2,082	2,808
5	新昭和	1,438	1,629
6	三栄建築設計	1,395	1,246
7	ホーク・ワン	1,272	—
8	ケイアイスター不動産	1,159	—
9	グランディハウス	1,151	1,250
10	ファイブイズホーム	613	680
11	細田工務店	549	598

ランキンクは、アンケートにおいて同業への供給が全供給の90%以上を占める企業。ホーク・ワン、ケイアイスター不動産は公表数字

テーマ性のある街づくりで評価

高き生かしたプランで差別化

ボラスグループ

ボラスグループ（埼玉県越谷市、中内晃次郎社長）は、埼玉県を中心に千葉県、東京都など戸建て分譲住宅を供給する大手で、



アロハ・テラスの外観、ハワイのリゾートをイメージした

に、建物装飾を施した玄関ドアや、洗練されたデザインの家飾りにガーデングリル、深い庇のあるポーチなども設ける。インテリアはデザイン性の高いエ

街づくりの視点で資産価値になる分譲地づくりを進めている。全棟構造計算を行いスキップフロアの採用や、戸建てならではの高き方向を意識したプラン提案などで、マンションとの差別化を図る。

最近のプロジェクト「リゾート感覚で暮らす家」。ハワイのほか品川典久社長（同、越谷内景太社長）が越谷ア、アジアの4つのリゾート地をテーマに、プロジェクト「があ

大規模分譲地を開発した「パレットコート越谷レイクタウンリゾー」がある。1期としてラストが美しい外観分譲住宅を企画する。

コカラット、割石の表情が美しいラグナロックなどのアクセントウォールを活用した。別の案件としてグループの中央住宅（同、品川典久社長）が越谷市内で手掛ける「越谷蔵のある街づくりプロジェクト」がある。分譲地内に現存した築約150年の蔵を生かし、景観に合ったラストが美しい外観分譲住宅を企画する。